

東洋建、任天堂創業家ファンドが筆頭株主 前田建上回る

2022/4/15 20:18 | 日本経済新聞 電子版

[任天堂創業家](#)が資金を拠出する投資ファンドが、[東洋建設](#)の筆頭株主になったことが15日わかった。8日までに保有比率が20.75%になったとの大量保有報告書を15日に関東財務局に提出、前田建設工業(20.19%)を上回った。東洋建に対しては、前田建親会社の[インフロニア・ホールディングス](#)が3月23日から非公開化を目指してTOB(株式公開買い付け)を進めている。

筆頭株主になった「WK1」はケイマン諸島籍で、任天堂創業家の資産運用会社「ヤマウチ・ナンバーテン・ファミリー・オフィス(YFO)」が出資している。YFOは任天堂の山内溥元社長から相続した同社株をもとに孫の山内万丈代表が立ち上げ、運用資産は1000億円を超える。

【関連記事】

- ・[東洋建設買収に任天堂創業家の影 TOB中に19%取得](#)
- ・[インフロニアHD、東洋建設をTOBで子会社化](#)

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.

